

地方創生推進交付金事業の 効果検証について

令和4年10月
小城市地方創生総合戦略有識者会議

地方創生推進交付金事業の効果検証

- (1) 高速道路ネットワークを活かした小城市まち・ひとづくり事業
- (2) 温泉・スポーツ等を核とした小城市“交流人口拡大”施設整備計画
- (3) 高速道路を起点とした観光人口・交流人口拡大、地域の担い手育成事業

(1) 高速道路ネットワークを活かした 小城市まち・ひとづくり事業

都市計画課

① 牛津拠点地区市街地活性化推進事業

牛津街づくり株式会社

委託

総合戦略課

② 高速道路ネットワークを活かした
総合戦略推進事業

福岡地域戦略推進協議会
(FDC)

NEXCO西日本

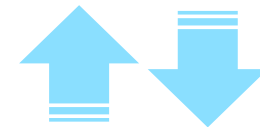
小城市

連携

市街地活性化
地域の活力向上



市民主体のまちづくり
(市民協働・リビングラボ)



新たな成功モデル
を生み出す

市民 ・ 市民団体等

① 牛津拠点地区市街地活性化推進事業

2020年度、2021年度の取り組み

■ 空き店舗解消に向けた取り組み

✓ 個別店舗調査

✓ 空き店舗相談

■ 住民参加イベントの開催

2020年度

✓ パソコン教室 ✓ 風鈴づくり ✓ 感謝祭
✓ ピアノコンサート ✓ イルミネーション

2021年度

✓ ピアノコンサート ✓ まちづくり講演会
✓ イルミネーション ✓ 感謝祭
✓ 竹あかり製作

② 高速道路ネットワークを活かした総合戦略推進事業

2019年度、2020年度の取り組み

■ 小城市リビングラボの開催（企業と市民による特産品開発）

➤ ワークショップを5回実施し、市民のアイデアをもとにサンプルを試作

第1回(2019.8.25)
アイデアソン
(目的の共有)

第2回
(2019.10.1)
アイデアソン(発散)

第3回
(2019.11.20)
アイデアソン(収束)

第4回
(2020.1.22)
サンプル試作

第5回
(2020.8.24)
最終発表



2019年度、2020年度の取り組み成果

■地域資源の再生・創造（情報発信、地産品等の開発）

成果：小城市リビングラボの開催（企業と市民による特産品開発）

- リビングラボにおける、市民と企業（4社）による共創の成果は以下の通り
- おっ！ぎラムネ、トラキチ君シェイク、ogi cubeの3商品が販売開始。
- 取り組み内容や商品は、新聞、TV等20以上のメディア媒体に掲載
- 参加市民による商品PR（情報発信）、POP等販促物の作成（自発の動き）

企業と市民が共創する小城市リビングラボから生まれた4つのお土産品

佐賀冷凍食品(株)チーム 「おぎにり」



- ✓ 小城の原料や小城にちなんだ素材3種のおにぎり：梧竹ごもく、牛尾梅、佐賀牛すき焼き（開発中）

(株)友樹飲料チーム 「小城市VR体感ラムネ おっ！ぎ」



- ✓ 小城市の四季や観光地をVR風に体験できるラムネ

竹下製菓(株)チーム 「トラキチ君シェイク」



- ✓ トラキチ君アイスを模したバナナシェイク
- ✓ カップにチョコでトラ柄を表現

みつばや小城羊羹チーム 「ogi cube」



- ✓ サイコロ状の7色羊羹
- ✓ 今までの羊羹にはない、新感覚の味のラインナップ

※「おぎにり」は商品化に向け開発中。

(1) KPI進捗管理 (高速道路ネットワークを活かした 小城市まち・ひとづくり事業)

		R1年度 (H31年4月1日～R2年3月31日)		R2年度 (R2年4月1日～R3年3月31日)		R3年度 (R3年4月1日～R4年3月31日)	
		1年目		2年目		3年目	
事業費(千円)		10,024		9,900		0	
うち地方創生推進交付金(千円)		5,012		4,950		0	
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗の解消に向けた取り組み ・賑わい創出のためのイベント等開催 ・リビングラボの手法を用いたワークショップ 		<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗の解消に向けた取り組み ・賑わい創出のためのイベント等開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・賑わい創出のためのイベント等開催 	
1	区域内行政区(栄町・本町・友田・江津)の年度末時点住民基本台帳における常住人口(人/年)	目標値	1,352	1,392	1,432		
		実績値	1,401	1,408	1,396		
2	区域内の空き家・空き店舗数	目標値	22	21	20		
		実績値	20	18	16		
3	小城スマートインターチェンジの利用車数	目標値	1,300	1,309	1,318		
		実績値	1,081	1,077	1,136		

(2) 温泉・スポーツ等を核とした小城市 “交流人口拡大”施設整備計画

■ フットボールセンターの整備

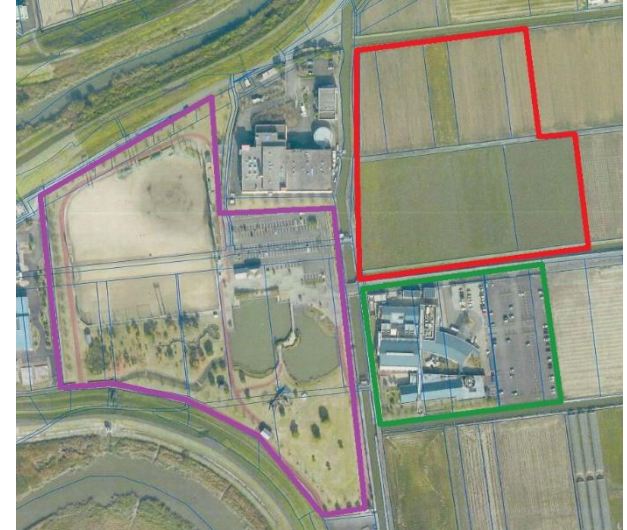
牛津保健福祉センター「アイル」と「牛津総合公園」の隣接地に人工芝のサッカー場の整備を行い、周辺施設を一体的に活用し、日本サッカー協会公認の公式大会などの開催により地域活性化に繋げる。

フットボールセンター
建設予定地 約30,000m²

2021年度の取り組み



パース図



■ 基本・実施設計完了及びグラウンド造成工事

約3haの敷地に長さ105m、幅68mの人工芝のサッカー場2面、照明設備、115台駐車できる駐車場、付帯施設として、トイレ、ミーティングルーム、審判室などを整備予定。

(2) KPI進捗管理 (温泉・スポーツ等を核とした小城市 “交流人口拡大”施設整備計画)

	R2年度 (R2年4月1日～R3年3月31日)	R3年度 (R3年4月1日～R4年3月31日)	R4年度 (R4年4月1日～R5年3月31日)
	1年目	2年目	3年目
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現地測量、基本・実施設計 ・地質調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 ・基本・実施設計完了 ・グラウンド造成工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事 ・付帯施設工事

1	サッカー場を整備し、アイルをクラブハウスとして周辺施設と一体的に活用した際の経済効果(百万円)	目標値	56	110	114
		実績値	23	53	
2	アイルの市外利用者(万人)	目標値	3.6	6.6	8.3
		実績値	1.5	3.3	
3	九州大会以上のサッカー大会誘致数(大会)	目標値	0	0	0
		実績値	0	0	

(経済効果算出式)

アイル R3 利用人数 71,469人	うち市内利用人数 38,764人					合計 (円)	
	温泉・プール利用料	人数 38,764	×	金額 600	=		計 23,258,400
	うち市外利用人数 32,705人					52,693,400	
	温泉・プール利用料	人数 32,705	×	金額 600	=		計 19,623,000
	その他 (市内の飲食・土産・スーパー等)	人数 9,812	×	金額 1,000	=		計 9,812,000
	30%想定						

(3) 高速道路を起点とした観光人口・交流人口拡大、地域の担い手育成事業

2021年度の取り組み

■小城式観光ビジョンの策定

より効果的な観光振興に向けて、小城の強みや社会変化を捉え、市民や企業、関係団体等と連携し総合的かつ一体的に事業を推進するため、小城が目指す観光、その実現に向けた推進方針、取り組みの方向性について、市民をはじめ関係者の共通理解を得ることを目的に小城式観光ビジョンの策定。

■パイロット事業取り組み方針の策定

小城式観光ビジョンの実現に向けた小城式観光推進協議会の具体的な取り組み内容として「自転車を活用した、みんなで魅せる新しい小城」をコンセプトにパイロット事業（高速道路を起点とした観光人口・交流人口拡大、地域の担い手育成事業）の方針策定。

小城式観光ビジョン ～また来なくなる、やさしい小城～

資料 2

小城の課題	小城の強み	実現に向けた推進方針
観光 広域から集客可能な突出した観光スポットに乏しい	市内に点在する豊かな観光資源 (小・中・高、歴史博物館・文化・自然遺産、自然豊かな田舎農業 / 宇治川文化・農産・食品の醸成)	市民との共創による観光振興 『また来なくなる新しい小城』を実現するために、市民共創での観光振興を進めています。小城では、市民が良き良きで集まることが、豊かな地域づくりの鍵を握ります。『観光振興まちづくり推進計画』として、これまで取り組んできた経験と新たに『コンセプト』の手法を用いて、来訪者自覚の目録に合わせた観光サービスを生み出すことを目指します。市民との共創により様々な視点を取り入れて小城の観光振興をさらに発展させていきます。
観光 歴史・文化・農産を観光資源として活用できていない	四季折々に彩る自然や文化、食を活用したイベントの開催	
観光 点在する観光スポットを巡る交通手段やルートが限定的なため、再遊の体験価値が乏しい	小城スマートICの経過 (環状道路から1時間圏内)	
観光 来訪者自覚に立った利便性につながるサービス・設備に乏しい	地域高規格道路などの整備による多方面からの交通アクセスの充実	
観光 来訪者自覚に立った利便性につながるサービス・設備に乏しい	志願団体による活発な市民活動 第1期ピルナラで完成された市民共創の醸成	
観光 情報整理・一元化ができておらず、小城が持つ魅力を十分に発信できていない	各組織が行ってきた観光PR媒体の基盤 (SNS・ブログ・Webサイト等)の活用	
観光 歴史・文化を伝承する人、地域の活動を支える人が高齢化しており、若い手が減ってきている	新型コロナウイルスの影響による観光様態の変化 「小規模で近距離へ、ミニマム観光体験への変化」 密を避け、距離を保つことができる限外の観光ニーズの高まり	取組みの方向性 ① 観光様態の変化に対応した観光資源の磨き上げと、つながりから生まれる価値の創造 ② 点在した観光スポットを包摂した回遊ルート、それに伴う手段の整備と回遊しやすくなる仕掛けづくり ③ 各団体や市民と連携したカゴの育成およびおてがし体制の構築 ④ 来訪者の自覚に立って、利便性向上につながるサービス・環境整備 ⑤ 観光・歴史・文化などの情報をストーリーとしてわかり易く可視化した分かりやすい情報発信



小城式観光ビジョンの実現に向けて | ビジョンの実現に向けて、協議会を設立し、事業の取組みを推進します。

資料 6

●パイロット事業「高速道路を起点とした観光人口・交流人口拡大、地域の担い手育成事業」

自転車利用の観点で資源の磨き直しとコンテンツ化

- 新しい切り口で市内に点在する文化・観光資源の磨き直しを行う
- 魅力的な観光コンテンツとして文化・観光資源を磨き上げる
- コロナ禍の観光様態の変化に対応した、新たな観光体験を生み出す

来訪者が車を降りて市内を回遊する仕掛けづくり

- 小城PAを活用し、市内の動線づくりをする
- 車以外の高速手段や観光のアクセシビリティとして自転車を活用する
- 観光バス・バス・タクシー・タクシー・タクシーの活用
- 観光バス・バス・タクシー・タクシーの活用

自転車利用の観点で資源の磨き直しとコンテンツ化

- 沿道店舗、民営企業、市民団体など連携し、小城の魅力発信ができる
- 観光バス・バス・タクシー・タクシーの活用

来訪者に向けた情報の一元化およびわかりやすい情報提供

- 観光情報を提供する団体の連携を強化し、市内各地域の情報発信拠点
- 来訪者への情報を集約する（注目の開放など）
- 来訪者が情報が入手しやすい環境を構築する

小城ならではの体験を自覚的に享受しやすくなる仕掛けづくり

- 小城の魅力を可視化し、ストーリーとして発信する
- SNS・ICPなどを活用し、市民や来訪者が発信する場を設ける
- 観光コンテンツを磨き直し、観光振興を支援する。市民共創型観光コンテンツを磨き直し、観光振興を支援する。

事業コンセプト：自転車を活用した、みんなで魅せる新しい小城

★この事業の目指すところ

●観光協会の取組み「小城スマートIC圏連に伴う、湧水地区地域活性化計画」
実施経路：鳥取県の設置で統一したロゴデザインを使用し、湧水地区の観光振興を促進する。湧水地区の地域活性化を目指す。

●小城市の取組み「地域観光振興推進協議会」
実施経路：『湧水地区の活性化（イベント）として推進。2021年度は市内全域型イベントで、市内各地域を結ぶコラボ企画を実施。

2021年度の取り組み

■小城式観光推進協議会の設立

関係諸団体が協働して取り組む観光振興の方向性を整理した「小城式観光ビジョン」を総合的かつ一体的に推進するため「小城式観光推進協議会」を設立



- (1) リビングラボの手法を用いたビジョンに資する取り組みのアイデア創出、評価検証に関すること
- (2) ビジョンに関する情報発信、プロモーションに関すること
- (3) ビジョンに資する取り組みへの市民参加の支援に関すること
- (4) 前各号に掲げるもののほか、ビジョンの実現と健全な発達を図るために必要な事項

2021年度の取り組み

市民との共創による観光振興（小城式観光ビジョン）

「また来たくなるやさしい小城」を実現するために、市民共創での観光振興を進めていきます。小城市では、市民と行政が一体になり協働していくことで、豊かな地域社会の構築を目指す「協働によるまちづくり」を推進しており、これまでに培われてきた市民共創を土台に、リビングラボの手法を用いて来街者目線に立った質の高いサービスを生み出すことを目指します。市民との共創により様々な視点を取り入れて小城の観光振興をさらに発展させていきます。



■リビングラボの開催

市民WS(2021.11.24)
アイデアソン(発散)

第1回(2022.3.3)
アイデアソン(目的の共有・発散)

第2回(2022.3.6)
自転車体験会

- ・第1期の振り返り
- ・自転車を活用した新しい観光振興事業

- ・小城式観光ビジョンの共有
- ・先進事例の紹介（さいきリング）
- ・具体的なイメージを持つ

- ・自転車に乗って小城を周遊



(3) KPI進捗管理 (高速道路を起点とした観光人口・交流人口拡大、地域の担い手育成事業)

	R3年度 (R3年4月1日～R4年3月31日)	R4年度 (R4年4月1日～R5年3月31日)	R5年度 (R5年4月1日～R6年3月31日)
	1年目	2年目	3年目
事業費(千円)	5,937		
うち地方創生推進交付金(千円)	2,951		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の設立 ・リビングラボの手法を用いたワークショップ ・自転車体験会 		

1	市内での新規出店数(商業事業所)	目標値	1	4	9
		実績値	3		
2	サイクルツーリズムイベントの延べ参加者数	目標値	0	50	150
		実績値	0		
3	おもてなし協力店舗の数	目標値	3	12	20
		実績値	3		
4	小城スマートインターチェンジ利用車数	目標値	1,241	1,268	1,295
		実績値	1,136		